# 第9章 | Pandasの応用

Author: sharo

9.1 DataFrameの連結・結合の概観

## 9.1.1 連結・結合について

Pandasでは**DataFrame**に対して**連結、結合**という操作ができます。**DataFrame**同士を一定の方向についてそのままつなげる操作を**連結**、特定の**Key**を参照してつなげる操作を**結合**と言います。

# 9.2 DataFrameの連結

### 9.2.1 インデックス、カラムが一致しているDataFrame同士の連結

```
pandas.concat(<DataFrameのリスト>, [軸])
```

```
# default: axis = 0
pandas.concat([df1, df2], axis = 0) # 縦連結
pandas.concat([df1, df2], axis = 1) # 横連結
```

# 9.2.2 インデックス、カラムが一致していないDataFrame同士の連結

共通のインデックスやカラムでない行や列にNaNを持つセルが作成されます。

# 9.2.3 連結する際のラベルの指定

```
pandas.concat([df1, df2], axis = 1, keys = ['X', 'Y'])
```

```
X
                   Υ
apple orange banana apple orange banana
  45
       68
             37
                  38
                        76
                13
  48
       10
          88
                    6
  65
    84
          71 73 80 77
  68
       22
             89
                  10
                        65
                             72
```

# 9.3 DataFrameの結合

# 9.3.1 結合の種類

結合のことをマージとも呼びます。結合は、Keyと呼ばれる列を指定し、2つのデータベースのKey内の値が一致する行を横につなげる操作です。

結合には大きく分けて内部結合と外部結合の2つの方法があります。

#### 内部結合

Key列に共通の値がない行は破棄されます。

## 外部結合

Key列に共通の値がない行も残ります。共通でない列についてはNaNで埋められたセルが作成されます。

# 9.3.2 内部結合の基本

```
pandas.merge(df1, df2, on = key, how = 'inner')
```

```
pandas.merge(df1, df2, on = 'fruits', how = 'inner')
```

# 9.3.3 外部結合の基本

```
pandas.merge(df1, df2, on = key, how = 'outer')
```

```
pandas.merge(df1, df2, on = 'fruits', how = 'outer')
```

# 9.3.4 同名でない列をKeyにして結合する

pandas.merge(df1, df2, left\_on = '左側DFのカラム', right\_on = '右側DFのカラム', how = '結合方法')

# 9.3.5 インデックスをKeyにして結合する

9.3.4の left\_on 、right\_on の値を True に設定するとインデックスをKeyとして結合します。

P280参照

9.4 DataFrameを用いたデータ分析

# 9.4.1 一部の行を得る

```
df.head() # 冒頭5行のみを含むDataFrameを返す
df.tail() # 末尾5行のみを含むDataFrameを返す
df.tail(3) # 末尾3行のみを含むDataFrameを返す
```

# 9.4.2 計算処理を適用する

```
double_df = df * 2 # double_df = df + df
square_df = df * df # square_df = df ** 2
sqrt_df = np.sqrt(df)
```

#### 9.4.3 要約統計量を得る

列ごとの平均値、最大値、最小値などの統計的情報をまとめたものを**要約統計量**と呼びます。 DataFrame型変数 df に対して、df.describe() は df の列ごとの個数、平均値、標準偏差、最小値、四分位数、最大値を含むDataFrameを返します。得られたDataFrameのインデックスは統計量の名前になります。

```
# dfの要約統計量のうち、'mean', 'max', 'min'を取り出してdf_desに代入df_des = df.describe().loc[['mean', 'max', 'min']]
```

### 9.4.4 DataFrameの行間または列間の差を求める

```
df.diff(<行または列の間隔>, [軸])
```

```
# 第1引数が正の場合前の行との差、負の場合は後の行との差
# axis = 0 -> 行方向, axis = 1 -> 列方向
df.diff(-2, axis = 0) # 2行後の行との差を計算したDataFrameを生成
```

## 9.4.5 グループ化

データベースやDataFrameに対して、ある特定の列について同じ値を持つ行を集約することを**グループ 化**と呼びます。GroupByオブジェクトに対して、各グループの平均値を求める mean() や和を求める sum() などの演算を行うことができます。

```
grouped_region = prefecture_df.groupby('Regioin')
mean_df = grouped_region.mean()
```